共 同 研 究 報 告 書

２０２２年　４月　１８日

研究代表者：

氏　　名　　本田　充彦

所属・職　　岡山理科大学　生物地球学部　准教授

研究題目：TMT中間赤外線観測装置 MICHIとPSI-Redの役割分担検討

１．成果報告

(1)研究の実施日程

研究項目	実　施　日　程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
MICHI/PSI-Red 相互検討					←	―	―	―	―	―	―	→

(2)研究成果

我々はTMT用の汎用中間赤外線観測装置MICHIの実現に向けて、その要素技術の開発を行ってきた。一方でTMT内での第二期装置の議論において、系外惑星観測に特化した装置であるPSIの特にPSR-Redとカバー波長・機能が重なる点があり、今後の第二期装置検討に向けて役割分担を検討する必要がある。そこで、PSI-Red関係者およびMICHI関係者で集まり、より良いTMT装置提案に向けて役割分担を明確にする検討を行いたいと考えている。このような検討はリモートでの議論よりは、相互信頼を築く上で対面での議論が望ましいと考え、2021年度の後半の2022年3月に京都で開催予定であった大型国際研究会(Protostar & Planets VII)の海外研究者の来日機会をとらえて、PSI-Red および MICHI のコアメンバーで対面での議論を行う計画を2021年度開始時に検討した。しかしながら、2021年度も世界的なコロナ禍のため日本への来日の機会は大幅に制限されており、本報告書執筆時においても、まだ制限は解除されていない。それに伴い、大型国際研究会 PP VII の開催も2023年まで延期され、対面での議論の機会の設定が不可能となった。そのため、メールやZoomなどでのリモートでの議論を進めており、さらに2022年5月（来月）に MICHI PI の Chris Packham 氏の来日に合わせて、役割分担の青写真の策定に向けた対面での議論を予定している。